

応急診療について

■外来診療時間内

ドクターマップ

- 生駒市の病院・クリニックが表示されます。受診診療科を確認して連絡して下さい。



■外来診療時間外

- 外科系応急診療 平 日 20:00～翌朝 9:00
土 曜 日 13:00～翌朝 9:00
日・祝日 9:00～翌朝 9:00

- 当日の担当病院を休日・夜間応急診療案内
自動音声案内 ☎0743-74-5600 で確認してから担当病院へ。

- 内科・小児科系 平 日 22:00～翌朝 6:00
応急診療 土 曜 日 16:00～翌朝 6:00
日・祝日 10:00～翌朝 6:00

- (一財)生駒メディカルセンター休日夜間診療所
☎0743-75-0111 受付終了時間は翌朝5:30です。

- 上記の時間以外、休日・夜間応急診療案内
自動音声案内 ☎0743-74-5600 で確認してから担当病院へ。

- 平 日 6:00～9:00、20:00～22:00
土 曜 日 6:00～9:00、13:00～16:00
日・祝日 6:00～10:00

応急診療受診の注意

- 受診前に必ず電話連絡をして、どれくらいの時間に到着するか伝えて下さい。
- 特に診療の開始や終了の時間に近い場合は正確に伝えて下さい。
- 診療時間を間違えないようにして下さい。
- ゴールデンウィークと年末年始(12月29日～1月3日)は日・祝日と同じです。
- あらかじめ一定額の支払いが必要な医療機関もあります。
- マイナ保険証(健康保険証)・診療費を忘れないでください。

救急医療に関する相談 24時間・年中無休

「救急車を呼ぶべきか」、「医療機関を受診したほうが良いのか」、「近くの医療機関が知りたい」などについて、看護師や相談員に相談することができます。緊急でない場合は、まずこちらをご利用ください。

奈良県救急安心センター 相談ダイヤル #7119 または ☎0744-20-0119

※相談は無料ですが、電話通話料、データ通信にかかる費用はご自身でのご負担となります。



法楽寺 3-G

天平18年(746)聖武天皇が東大寺大仏殿の建立にあたり、西北に位置する当地に王城守護のための大伽藍を、僧行基(団)が創建させました。本尊は薬師如来坐像(木造)で、再三の兵火を免れたことから火よけの薬師と呼ばれるています。本堂薬師堂と鐘楼は、平成25年に現在の場所に移動しています。

行者堂 4-G

行者堂は昭和31年に金丸講(大峰山寺に対する信仰集団)が建立しました。室内には元文3年(1738)大峰山上33度参拝を記念して建立された行者像(前鬼・後鬼を従えた高さ1m、奥行き50cm程の自然石)が安置されています。

無縁寺 4-G

無縁寺は、久保地区にある共同墓地久保墓の墓寺です。久保墓はもともと尾谷峯墓所と呼ばれ、寛永15年(1638)ここに墓移されました。本尊は阿弥陀如来像で建立時期は詳らかではありません。

モリサン 4-G

高山八幡宮創建以前は高山の氏神様であったと伝承されています。祭神は八幡神で、祭祀は五穀豊穡、家内安全、無病息災、受験合格を祈願して毎年秋分の日の夕刻から行われます。

天満神社 4-H

天満神社は、もともと法楽寺で祀られていたものを神仏分離の際に、高山の有志でこの地に分祀されたのが創祀と伝承されています。祭神は菅原天神で、毎年8月25日地元民により祭祀が行われます。

権現社 4-H

一般に権現とは、仏・菩薩が衆生を救うために仮の姿をとって現れ、その現れた姿をいいます。石造物は室町時代の板碑、江戸時代の西国三十三所巡礼碑があります。祭神は権現で、毎年7月23日地元民により祭祀が行われます。

西光寺 4-H

西光寺は法楽寺の末寺で、開山は不明です。本尊は地藏菩薩立像(木造)で平安時代の作です。境内には自然石種子碑や室町時代作の一石五輪塔が設置されています。入口左側には頭部が欠損した江戸時代の道標地藏があり、また門を入ってすぐ右にも江戸時代の道標地藏があります。

素盞鳴神社 6-G

天正3年(1575)に鹿畑の鎮守として祀られたのが始まりとされています。現在の本殿は平成7年3月に改築造営されました。祭神は素盞鳴尊で、摂社に若宮社として大己貴命を祀り、境内末社として天照皇大神、春日大明神、八幡大明神が祀られています。境外末社として4社、町内に飛地末社として6社が祀られています。

善修寺 6-H

善修寺は建久4年(1193)に創建されたと伝えられています。宗派は融通念仏宗で本尊は十一尊天得阿弥陀如来(画像)です。元は真言宗寺院でしたが、改宗し鹿畑の檀那寺として信仰を集めてきました。



高山城跡 3-D

室町時代中期以降高山一帯を治めた鷹山氏は、富雄川を見下ろす高台に高山城を築き、大和の国の内外で活躍しました。居館は坊殿(現在の高山竹林園付近)にあったと言われており、十三重塔は、鷹山氏の先祖を供養し、大正天皇即位を記念し地元有志が大正6年に建立しました。

向露寺 3-D

本尊は阿弥陀如来坐像です。古来本願寺と円楽寺の境内にあった墓地を、火葬から土葬に改めるため現地に移し、元禄2年(1689)片岡山達磨寺の珠岩和尚が開基しました。境内には450余軒の墓地があり多くのお参りがあります。

本願寺 3-E

法楽寺の末寺で、本尊は地藏菩薩石像です。永正元年(1504)の銘があり秘仏とされています。庫裏が焼失し、平成16年に新しく客殿が完成、秘仏の石像などが祀り替えられ、その年が開年だったため、4年に一度の開帳法要が行われています。

柳樹地藏 3-C

庄田地区の北東に地藏山があり、この地域は柳樹と呼ばれ、その中腹にあった地藏山を柳樹地藏と呼んでいた。公有地の地藏山が終戦後民間に払い下げられ昭和22年に本願寺境内に運ばれました。

伊勢燈籠 4-E

古くより、淀川から枚方を通じ多くの旅人が、かいがけ道を登り、傍し～高山を経て伊勢を目指しました。高山はその中間地点で、美の原川を渡った十字路に伊勢燈籠と刻まれた燈籠があります。

円楽寺 3-E

明治時代の廃仏毀釈で建物なくなり、その跡に高山竹林園が整備され、その一角に円楽寺を菩提寺とした鷹山氏代々寺院関係者の墓碑が遺されています。東大寺大仏殿の再興に尽力された鷹山氏末裔の公慶上人とその親、兄弟もここに祀られています。

地藏尊 3-E

お地藏さんは他の地域からの悪霊や疫病などの邪悪なものを退散させると伝承され、村の入口に祀られています。地藏菩薩像、不動明王等の石造物は江戸時代に作られており、毎年7月23日に祭祀が行われています。

大雄寺跡 3-F

大雄寺は享享4年(1687)和州片岡山達磨寺の珠岩和尚が、「禪宗 和岳山岡村徳雲寺末寺 大雄寺」として開基されました。境内には江戸期作の十一面観音菩薩像、丸彫如意輪観音座像、宝篋印塔、石仏等があります。(現在はお堂がありません)

高山八幡宮 4-F

天平勝宝時代(749～757)東大寺大仏殿建立の時にその鎮守社として九州の宇佐八幡大神が平城京に入る途中、その頓宮として祀られました。本殿は国の重要文化財で、祭神は足仲彦命(仲哀天皇)、誉田別命(応神天皇)および息長帯比売命(神功皇后)で、本殿の左右に7つの末社(天照皇大神宮など)が配置されています。

阿弥陀寺 4-F

数百年前から、現在の寺の場所に峰堂という草庵があり、これを寛永年間(1637年頃)に増改築し、佐太の来迎寺の末寺として開山しました。以来十数代を経て本堂、客殿、鐘樓堂、表門を建立し浄土宗の寺院としての外観を整えました。本尊は、阿弥陀如来坐像で江戸時代のものです。



磨崖一尊像 2-B

傍し地区西谷墓地入口から、傍し寄りの大きな岩に彫られています。磨崖仏とは磨崖に直接彫り込まれた移動不可能な仏像の総称です。この像は江戸時代の作といわれ、32.5cm×24cmの小さな仏像です。



天満神社 3-B

この氏神は、外来病の防疫に備え、集落を守っていたといわれています。祭神は菅原道真公で傍し自治会が管理、運営をしています。境内には恵比寿社があり、姪児命が祀られています。



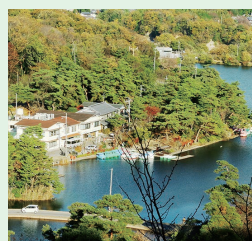
西方寺 3-B

大阪市平野区の大念佛寺の末寺で、本尊は十一尊天得如来(掛け軸)です。江戸中期に八葉蓮華寺(西傍し)の支院を合併して、現地に正覚山梅庵院西方寺として建立。昭和24年に焼失後再建され現在に至っています。



高山ため池 3-C

旧北傍し村は、積年の旱魃に困り、当時の村長有山武兵衛氏が有志と共に大規模なため池の築造を立案し、自らも奔走して昭和24年「高山ため池土地改良区(現北傍し土地改良区)」を設立しました。工事は昭和25年に着工、昭和30年に完成しました。



くろんど池 3-C

自然豊かな金剛生駒紀泉国定公園の中にあり、ボートが浮かび、散策路やキャンプ場が整備され、憩いの場となっています。また、浅香山部屋の鑑古場があり、大阪場所に向けて、2月中旬から3月下旬の早朝には、お相撲さんの玉の汗が飛び散る様子が身近に見られます。

茶釜のご案内

茶釜の販売等は高山竹林園にて行っています。

翠華園谷村弥三郎商店 3-E

生駒市高山町5725 ☎0743-78-0053
https://www.yasaburo.com

井上若狭 3-F

生駒市高山町5908 ☎0743-78-0294

和北堂谷村丹後 3-F

生駒市高山町5964 ☎0743-78-1755
https://www.tango-tanimura.com

久保駒吉商店 3-F

生駒市高山町6151 ☎0743-78-0127

竹栄堂 3-F

生駒市高山町6132 ☎0743-78-0125

北和園久保為業 3-F

生駒市高山町6136 ☎0743-78-3535

竹茗堂左文 3-F

生駒市高山町6439-3 ☎0743-78-0034
https://chikumeido.com

茶釜の里 良育工芸工房 3-F

生駒市高山町6659-3 ☎0743-78-0390

食事・買物・体験

観光旅館くろんど荘

☎0743-78-5151
生駒市高山町5035

宴会、宿泊、企業研修、団体利用、屋外でのバーベキュー、和風レストランでの食事の他、くろんど池でのボートなどのしめです。



●定休日/水 2-C



●定休日/木・日・祝 4-E



●定休日/日・祝 4-E



●定休日/月・金・土・日 4-F



●定休日/日・祝 3-G

アジア雑貨ルチュ 4-G

☎050-1808-111 生駒市高山町10687

ルチュとはインドネシア語でおもしろい、楽しいという意味です。オーナー自ら東南アジアで買付、オーダー商品を作成販売。

竹とガラスの夢の森工房 3-D

☎0743-78-1777 生駒市高山町4374-2

ガラス教室体験あり

生駒市体育協会 高山S.C. 2-B

☎0743-85-6606

生駒市体育協会高山s.c.管理事務所

利用施設についてはホームページ参照

高山竹林園 3-E



高山竹林園は、生駒市の地場産業である竹製品の振興及び市民の文化と教養の向上を図ることを目的として平成元年7月(1989)に開設されました。園内には、全国各地の約50種類の竹や笹の生園があり、和室、茶室、研修室を利用することができます。

資料館では、茶釜、茶道具、竹編針などの展示・販売の他に茶釜の制作実演、抹茶体験をおこなっています。

■茶釜の制作実演 毎週日曜日10:00～、13:00～(要問合せ)

■お抹茶体験 毎日/10:00～16:00

生駒市高山竹林園

〒630-0101 生駒市高山町3440番地
☎ 0743-79-3344



生駒 歴史あるまち

高山町 散策マップ



ようこそ！！ 歴史と文化の高山へ

高山は三國境(河内、山城、大和)と言われる場所に位置し、大阪・京都・奈良を結ぶ街道や淀川の舟運を経て枚方から、かいがけ道を登り、おかげ参りをした伊勢街道が遺されています。

神武天皇の東征伝承では、長髄彦と戦った際、神武天皇を勝利に導いた金の鶏の伝説が日本書紀に記載されていて、現在も鶏山の地名が遺されています。

室町時代後半は、南都興福寺の衆徒であった鷹山氏が河内から山城にかけて勢力を伸ばし、要衝の高台に高山城を築きました。

15世紀後半に村田珠光によって茶の湯が確立され、茶釜が完成されたと伝承されています。茶道の流派に応じて茶釜の形・作り方が繊細かつ微妙に異なり、江戸時代には高山茶釜師として特別の資格が与えられたとされています。

高山では茶釜が特産品となり、全国生産の90%以上を制作しています。材料の竹を真冬に寒干しする光景は、高山の風物詩となっています。

高山の地にゆかりのある公慶上人は鷹山家9代目頼茂の子であり、法楽寺で修行し、東大寺で学僧として研鑽を積み、東大寺の大仏復興と大仏殿の再建に貢献されました。東大寺境内の大仏殿西に公慶堂が建てられ坐像が祀られています。

また、高山はもともと水利が悪く、寛永元年(1624)には農業用水の確保のために、村の総力を挙げてため池が造られ、その後もたびたびの改修工事を経て享和3年(1803)に完成したのがくろんど池です。展望台から眺める景色は必見です。

制作・発行 高山文化研究会 (2025.10版)

バス・タクシーのご案内

高山エリアの散策には、バス利用が便利です。路線バスを活用しておすすめスポットを訪れてみよう。

奈良交通バスナビ

https://navi.narakotsu.co.jp



バス位置情報

乗りたいバスが今どこを走っているかがリアルタイムでわかります。



時刻・運賃

乗車バス停、降車バス停を入力することで、発着時刻と料金が分かります。



時刻表

指定したバス停の上下りのバス時刻表が検索できます。



運行系統図

北大和営業所(生駒)が表示されます。

「高山バス停」から「傍しバス停」または「生駒北スポーツセンターバス停」までの間は自由乗車区間で、手を上げることでよりバスに乗ることができます。(降車は各バス停)

奈良交通お客様サービスセンター

☎ 0742-20-3100 (8:30～19:00年中無休)

タクシーを呼ぶ

生駒交通株式会社 ☎ 0743-73-3131

奈良近鉄タクシー株式会社 ☎ 0743-73-4321

飛鳥タクシー株式会社 ☎ 0743-73-4444